

長泉麗峰山の会・山行報告書				文・写真 後藤	
山行番.	NO. 2099				
日 時	2025 年 11 月 07 日（金）晴・下部風あり				
山 域	ハッ・西岳（2398m）				
コース	長泉 6:00-富士見高原駐車場 8:30-不動清水・盃流し 9:09-ドイツカップルに抜かされる 10:48-西岳 11:30~12:30-駐車場 15:00（片道約 2.5H、距離約 300km）				
標高差	駐車場約 1330m～西岳 2398m＝約 1068m				
難易度	非常に困難	困難	やや困難	🔴普通	やや易しい 易しい
一本上りの直登道に喘ぐ					
参加者	後藤（78）、勝又、峰田、伊藤＝4 名				

このところ週末は悪天候が続き山行は二週間ぶり。山域はいろいろあったが、「オジ・オバ推薦コース・NO. 1」でハッ・西岳に決定。

「オジ・オバ推薦コース」定義は、「標高差 1000m前後・上り 3 時間前後・75 歳以上」だ。最近はその程度がよろしい。4 名の平均年齢 74 歳。ちなみに男子 80 歳は、筋肉量が 30% 減という。どうりで最近、キツイ訳だ。アルコールも筋肉減の一因という。

富士見高原駐車場は見事な紅葉。立派なトイレがあり有難い。駐車場はガラガラ。以前、何回か幕営した。静かでイイ所だ。



天気は快晴。良く冷えた朝。冷たい西風が吹いていた。ブラブラ上る。不動清水まで、やや道が分かり難かった。清水で湧水を飲んだ。味はマアマアだった。

登山道は一直線の一本上り。ジグザグの場所は皆無。ひたすら上って行く。下部は落葉松林が続く。風に飛ばされた落葉松がハラハラとザックに降りそそぐ。正に晩秋って感じだった。今山行の一句・・・「落葉松や 綺羅綺羅綺羅と 髪飾り」

標高 2000m 付近で今日唯一の登山者が上って来た。若い外人のカップルだった。ドイツから来たという。男性はモジャモジャの髭を生やしていた。女性はフィアンセといった。

新婚旅行かと思いきやそうでなかった。

ズック履き、ザックはペラペラ。登山口にあった落葉松の太い杖を突いていた。アッという間に我々を抜いて行った。



不動清水



外人さん

喘ぎながら山頂下のガラ場を上る。上から、これまた白髭の登山者が下山してきた。一見して「老練」の雰囲気。小屋関係の方だろうか。足元は、一昔前のガッチリした重厚な「革靴」だった。上から無言で見下され威圧を感じた。

ようやく山頂着。Mはピョンピョン上り先に着いていた。外人さんも休憩していた。ただ、食料はなく食事はしていなかった。

外人さんに山の説明をした。男性はいくらか日本語を話した。当方は、「ダンケ・ダンケ」だけである。男性のスマホで写真を撮ってあげた。「ナイス・カップル」のリップサービス。我々もカメラで集合写真のシャッターを押して貰った。

空腹で昼食を広げた。ドイツは下山するようだ。別れ際、Iさんに貰って持参した「次郎柿」を二ッ上げた。お礼は、本物ドイツの「ダンケ」だった。

山頂は何故か無風で暖かい。下部は強風だったのが不思議。南に編笠が大きい。昔は編笠から縦走したが、今はその威勢はない。東はギボシの向こうに権現が頭だけ見えた。久しぶりに山頂で一時間ノンビリした。



山頂のドイツカップル



ドイツさん撮影

